

# 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月9日

上場会社名 株式会社 中央倉庫

上場取引所 大

コード番号 9319 URL <http://www.chuosoko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 湯浅 康平

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 佐藤 廣次

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 075-313-6151

平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	10,095	△18.0	613	△24.9	649	△26.5	384	—
21年3月期第2四半期	12,307	—	815	—	884	—	20	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	22.25	—
21年3月期第2四半期	1.06	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	38,434	29,809	77.2	1,726.80
21年3月期	37,042	29,293	78.8	1,682.19

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 29,688百万円 21年3月期 29,175百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	12.50	—	10.00	22.50
22年3月期	—	10.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	12.50	22.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,800	△9.1	1,240	△13.2	1,300	△14.7	750	29.0	43.62

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ 定性的情報・財務諸表等 4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 20,064,897株 21年3月期 20,064,897株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 2,872,243株 21年3月期 2,720,906株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 17,291,794株 21年3月期第2四半期 19,653,793株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)平成21年5月20日に公表いたしました業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。

(2)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等について、及び上記(1)に係る業績予想の具体的修正内容は、5ページ 定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成22年3月期の個別業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	20,800	△9.2	1,170	△17.4	1,230	△18.3	710	25.3	41	30

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年来の世界同時不況のなか、一部に持ち直しの動きはみられるものの、企業収益や設備投資の大幅な減少、また、雇用情勢の急速な悪化など依然として厳しい状況が続きました。

物流業界におきましては、こうした経済動向を反映し、荷主企業の在庫調整・減産や輸出入貨物の落ち込みにより総物流量が低下するなか、競争激化の状況は続き、極めて厳しい経営環境で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、平成21年9月に茨城県猿島郡において建築中の倉庫（鉄筋コンクリート・鉄骨混合構造5階建延面積15,600㎡）を完成稼働させ、東京支店茨城営業所として営業所を開設（平成21年10月）しました。また、平成21年6月に梅小路支店トランクルームサービス伏見店等において、情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格であるISO/IEC 27001:2005の拡大認証を登録するなど業務の品質向上を図るとともに、環境に配慮したグリーン経営の推進にも取り組み、経営の効率化に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は10,095百万円（前年同期比18.0%減）、営業利益は613百万円（前年同期比24.9%減）、経常利益は649百万円（前年同期比26.5%減）となり、四半期純利益は、前年同期に実施した繰延税金資産の取崩しがなくなり、384百万円（前年同期比1,742.5%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### （倉庫業）

倉庫業におきましては、入出庫高は前年同期に比し大幅に減少となり、保管残高も減少しました。これらの結果、倉庫業の営業収益は2,604百万円（前年同期比13.5%減）、営業利益は343百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

#### （運送業）

運送業におきましては、取扱数量は入出庫高の減少により、前年同期に比し減少し、営業収益は5,426百万円（前年同期比12.2%減）、営業利益は459百万円（前年同期比12.4%減）となりました。

#### （国際貨物取扱業）

国際貨物取扱業におきましては、梱包業及び通関業の取扱数量は前年同期に比し大幅に減少しました。これらの結果、国際貨物取扱業の営業収益は2,101百万円（前年同期比33.5%減）、営業利益は117百万円（前年同期比55.0%減）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,391百万円増の38,434百万円となりました。これは主に、固定資産の建物及び構築物が1,587百万円、機械装置及び運搬具が315百万円及び投資有価証券が915百万円増加しましたが、流動資産の現金及び預金が455百万円、固定資産の建設仮勘定が983百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ875百万円増の8,624百万円となりました。これは主に、流動負債の1年内返済予定の長期借入金が216百万円及び未払法人税等が323百万円、固定負債の長期借入金が295百万円及び繰延税金負債が202百万円増加しましたが、流動負債のその他に含まれております設備関係支払手形が239百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ516百万円増の29,809百万円となりました。これは主に、利益剰余金が211百万円及びその他有価証券評価差額金が426百万円増加したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ、1.6ポイント減の77.2%となりました。

#### （キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動におけるキャッシュ・フローで1,234百万円の増加、投資活動におけるキャッシュ・フローで1,694百万円の減少、財務活動におけるキャッシュ・フローで203百万円の増加となり、当第2四半期連結会計期間末には4,070百万円となりました。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費によるものであり、1,234百万円と前年同期と比べ409百万円（49.7%）の増加となりました。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、主に、有形固定資産の取得のための支出によるものであり、1,694百万円と前年同期と比べ1,086百万円（178.8%）の増加となりました。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、主に、長期借入金の借入れによるものであり、203百万円と前年同期と比べ397百万円（-%）の増加となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、当初計画を下回る水準で推移しました。通期の見通しにつきましては、日本経済の早期回復は見込めず厳しい状況で推移すると思われれます。物流業界におきましても、国内総物流量が減少しさらなる競争激化のなか一段と厳しい経営環境が続くものと予想されます。

こうした状況のもと、当社グループは、より一層の経営の効率化と経営基盤の拡充に努める所存であります。

なお、平成21年5月20日の決算発表時に公表した業績予想を修正しており、その詳細は以下の通りです。

(通期)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	21,500	1,240	1,300	750	43 62
今回修正予想 (B)	20,800	1,240	1,300	750	43 62
増減額 (B - A)	△700	—	—	—	—
増減率 (%)	△3.3	—	—	—	—
前期実績	22,870	1,428	1,524	581	29 87

(参考)

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	21,500	1,220	1,280	740	43 04
今回修正予想 (B)	20,800	1,170	1,230	710	41 30
増減額 (B - A)	△700	△50	△50	△30	—
増減率 (%)	△3.3	△4.1	△3.9	△4.1	—
前期実績	22,911	1,416	1,505	566	29 10

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却の方法

定率法 (建物については租税特別措置法に規定する割増償却を含む) を採用している有形固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,270,560	4,726,492
受取手形及び営業未収入金	2,932,532	2,860,942
貯蔵品	13,147	11,768
繰延税金資産	130,738	110,083
未収還付法人税等	—	98,257
その他	441,375	404,168
貸倒引当金	△488	△479
流動資産合計	7,787,866	8,211,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,022,535	12,434,678
機械装置及び運搬具（純額）	804,424	488,968
土地	9,643,800	9,643,800
リース資産（純額）	45,684	44,474
建設仮勘定	—	983,220
その他（純額）	131,814	144,191
有形固定資産合計	24,648,258	23,739,331
無形固定資産	34,368	25,625
投資その他の資産		
投資有価証券	5,594,257	4,678,803
繰延税金資産	5,993	13,979
その他	409,182	419,517
貸倒引当金	△45,899	△45,996
投資その他の資産合計	5,963,534	5,066,303
固定資産合計	30,646,161	28,831,261
資産合計	38,434,028	37,042,494

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末  
(平成21年9月30日)

前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,063,749	969,759
短期借入金	3,210,000	3,210,000
1年内返済予定の長期借入金	951,500	735,100
リース債務	11,734	10,436
未払法人税等	344,565	21,421
賞与引当金	217,500	234,200
役員賞与引当金	8,900	22,200
その他	842,504	1,063,714
流動負債合計	6,650,453	6,266,832
固定負債		
長期借入金	1,156,700	861,200
リース債務	36,233	36,261
繰延税金負債	603,182	400,558
退職給付引当金	55,265	62,122
負ののれん	7,310	8,934
その他	114,951	113,181
固定負債合計	1,973,644	1,482,257
負債合計	8,624,097	7,749,089
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,734,294	2,734,294
資本剰余金	2,263,807	2,263,807
利益剰余金	26,443,263	26,232,015
自己株式	△2,485,696	△2,356,432
株主資本合計	28,955,668	28,873,685
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	736,443	310,028
為替換算調整勘定	△3,895	△7,801
評価・換算差額等合計	732,547	302,227
少数株主持分	121,713	117,491
純資産合計	29,809,930	29,293,404
負債純資産合計	38,434,028	37,042,494

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業収益	12,307,610	10,095,585
営業原価	11,131,635	9,158,727
営業総利益	1,175,974	936,858
販売費及び一般管理費	360,089	323,765
営業利益	815,885	613,092
営業外収益		
受取利息	3,407	2,382
受取配当金	57,593	53,564
受取家賃	5,948	5,811
負ののれん償却額	1,624	1,624
持分法による投資利益	12,767	—
その他	12,732	13,121
営業外収益合計	94,074	76,503
営業外費用		
支払利息	23,383	34,601
持分法による投資損失	—	2,066
その他	2,215	3,088
営業外費用合計	25,598	39,756
経常利益	884,361	649,839
特別利益		
固定資産売却益	2,127	16,396
投資有価証券売却益	2	2,982
貸倒引当金戻入額	—	87
特別利益合計	2,130	19,467
特別損失		
固定資産除却損	1,686	942
固定資産売却損	69	1,544
投資有価証券評価損	156,826	—
特別損失合計	158,581	2,487
税金等調整前四半期純利益	727,909	666,819
法人税、住民税及び事業税	353,963	344,911
法人税等調整額	351,139	△66,992
法人税等合計	705,103	277,919
少数株主利益	1,927	4,213
四半期純利益	20,878	384,687



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	727,909	666,819
減価償却費	585,853	582,567
負ののれん償却額	△1,624	△1,624
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	24,482	△87
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32,779	△16,700
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,100	△13,300
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△21,481	△6,856
受取利息及び受取配当金	△61,001	△55,947
支払利息	23,383	34,601
持分法による投資損益 (△は益)	△12,767	2,066
為替差損益 (△は益)	△117	9
投資有価証券評価損益 (△は益)	156,826	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2	△2,982
固定資産除却損	956	942
固定資産売却損益 (△は益)	△2,057	△14,852
営業債権の増減額 (△は増加)	45,144	△71,589
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,879	△1,379
その他の資産の増減額 (△は増加)	△89,371	△43,264
営業債務の増減額 (△は減少)	5,775	93,990
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△66,443	△15,946
その他の負債の増減額 (△は減少)	△21,514	5,457
小計	1,249,189	1,141,924
利息及び配当金の受取額	64,439	59,017
利息の支払額	△24,121	△36,509
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△464,341	70,488
営業活動によるキャッシュ・フロー	825,165	1,234,921
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△400,000	△200,000
定期預金の払戻による収入	400,000	400,000
有形固定資産の取得による支出	△540,579	△1,713,597
有形固定資産の売却による収入	6,107	40,205
投資有価証券の取得による支出	△70,344	△223,927
投資有価証券の売却による収入	8	3,967
子会社出資金の取得による支出	—	△4,558
その他	△3,004	3,235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△607,811	△1,694,675
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	70,000	—
長期借入れによる収入	420,000	950,000
長期借入金の返済による支出	△397,600	△438,100
リース債務の返済による支出	—	△5,218
自己株式の増減額 (△は増加)	△3,680	△129,264
配当金の支払額	△282,005	△172,829
少数株主への配当金の支払額	△756	△756
財務活動によるキャッシュ・フロー	△194,041	203,831

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	117	△9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	23,430	△255,931
現金及び現金同等物の期首残高	5,069,265	4,326,492
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,092,695	4,070,560

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

項目	倉庫業 (千円)	運送業 (千円)	国際貨物取扱業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
営業収益						
(1) 外部顧客に対する営業収益	2,991,152	6,155,768	3,160,689	12,307,610	—	12,307,610
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	21,213	22,246	—	43,460	△43,460	—
計	3,012,366	6,178,014	3,160,689	12,351,070	△43,460	12,307,610
営業利益	374,156	524,259	261,158	1,159,574	△343,688	815,885

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

項目	倉庫業 (千円)	運送業 (千円)	国際貨物取扱業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
営業収益						
(1) 外部顧客に対する営業収益	2,584,595	5,409,801	2,101,189	10,095,585	—	10,095,585
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	19,953	16,455	—	36,409	△36,409	—
計	2,604,549	5,426,256	2,101,189	10,131,995	△36,409	10,095,585
営業利益	343,063	459,443	117,498	920,005	△306,913	613,092

(注) 1. 事業区分は営業収益の集計区分によっております。

2. 各事業の主な業務は以下のとおりであります。

倉庫業 : 倉庫、賃貸等

運送業 : 貨物利用運送、貨物自動車運送

国際貨物取扱業 : 梱包、通関等

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外営業収益は、連結営業収益の10%未満であるため、記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。